Toyo Eiwa CLIL ReN

ビジネス日本語教育へのCLIL適用の可能性についての考察

2016年11月5日（木）
目白大学大学院
日本語・日本語教育専攻
坂本孝之

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

議題

- プロファイル
- ビジネス日本語教育の現状
- 日本企業の求める人材像
- ビジネス日本語教育のあるべき姿
- ビジネス日本語の教育手法の研究
- 想定される授業の設計
- まとめ

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

プロファイル

- 東京生まれの東京育ち、現在文京区在住
- 家族：妻（中国人）、長男（3歳）
  - 夫婦間の会話：主に日本語、複雑な話は英語
  - 子供との会話：母（主に中国語、日本語）、父（主に日本語、中国語）
- 外資系企業20年勤務（~2008）
  - IT設計コンサルテイング事業のプロジェクト・マネージャ
  - 上司・同僚・部下は、米国人、仏蘭西人、中国人、印度人　他
- 現在、IT企業の役員（2008~）
  - eラーニングシステムのクラウド・プラットフォーム開発
  - センサー・ネットワーク（IoT）によるクラウド・システムの開発　等
  - 人材採用・人材育成、オフショア開発会社（ベトナム）の立上げ
- 目白大学大学院言語文化研究科日本語教育専攻（2016~）
  - 社会言語学的アプローチによるビジネス日本語のあり方に関する研究
  - CLILを適用した言語学習手法（日本語、英語）の研究
- CLIL Renに対するスタンス
  - CLILのエバンジェリスト（evangelist）集団のメンバーとして、英語教育だけでなく、CLILの適用効果の大きい分野を俯瞰的に探索し、CLIL適用の実践的方法に関する研究や情報共有を計る

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

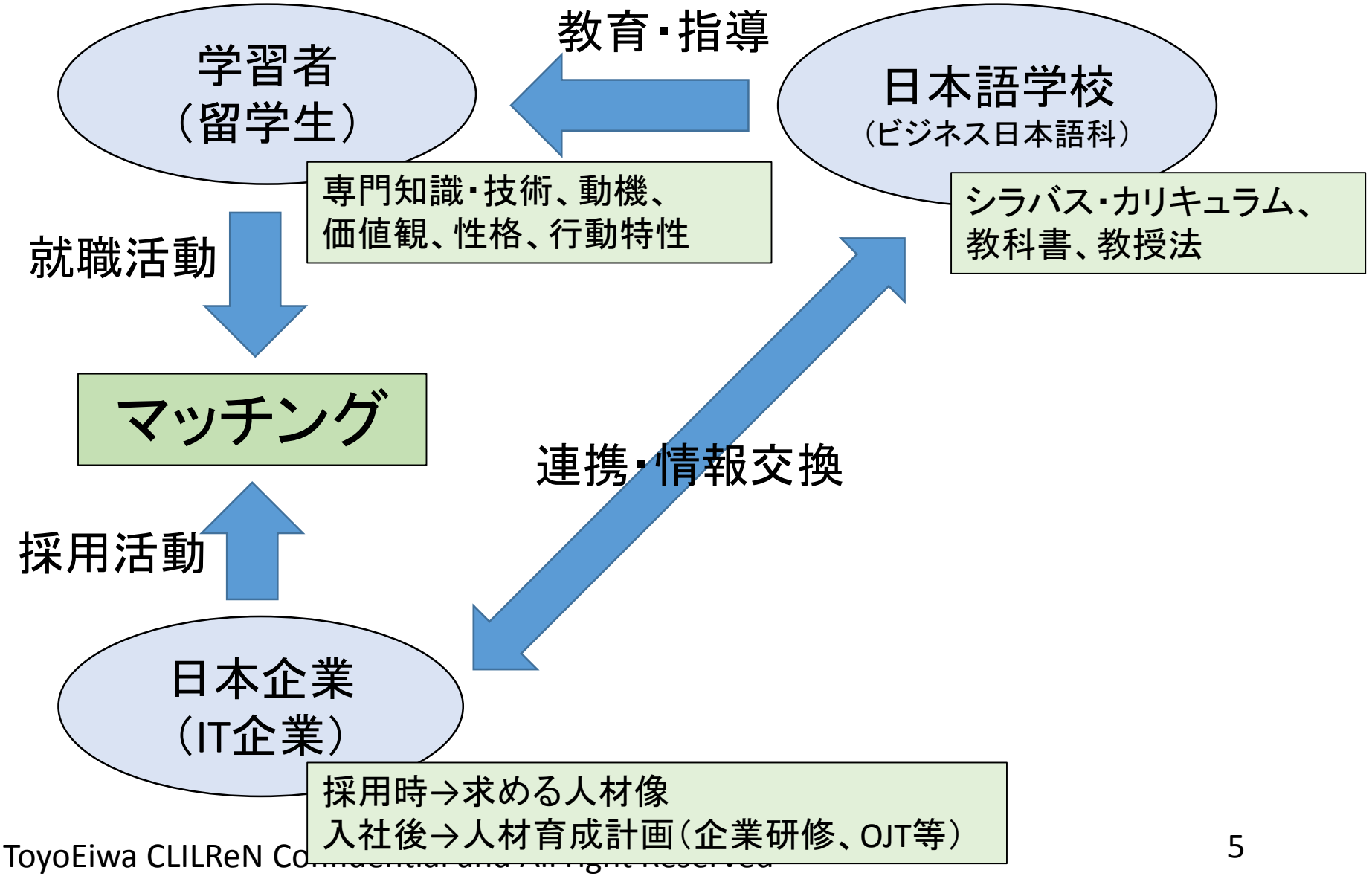
ビジネス日本語教育の現状

- 日本語学習者
  - 海外（特に東南アジア：中国、韓国、台湾）が80%以上
  - 日本での留学や就職が目的（ニーズ）
  - 日本企業の人材不足（IT業界等）を背景に増加
  - 日本政府も留学生を奨励「アジア人財資金構想（経産省）」
- ビジネス日本語教育
  - ビジネス日本語＝学習科目（JSP)として存在？
  - 日本語学校（語学専門学校）が提供している日本語クラス
  - ほとんど全ての学習者の学習目的は、日本企業への就職
  - 授業内容は、日本企業におけるビジネス実務マナーの学習と実習（電話応答、上司への報告、会議での発表　等）

    →　日本企業の求める人材育成計画にマッチしていない？

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

ビジネス日本語教育の全体関連図



nfidential and All Right Reserved

日本企業の求める人材像

求める人材像（例）

- 様々な考えや立場を持った人のいる組織において、何かを成し遂げなければいけない時に、主体的にリードし、必要な人に働きかけ、成果を出すまで行動し続ける。
- 企業の全階層における協働活動（改善活動、小グループ活動　等）を実施するために重要な資質

人材を評価する際の観点（評価項目）

評価項目	テスト評価	書類評価	面接評価	重要性
専門知識・技術	○			○
業務処理能力	○			○
動機・意欲		○	△	△
価値観		○	△	△
興味・志向		○	△	△
性格	○			○
行動特性			○	◎
ビジネス実務マナー	○		△	◎

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

評価項目に関する育成・指導方法

評価項目	業務（技術）授業	キャリア設計指導	コーチングデスカッション
専門知識・技術	○		
業務処理能力	○		
動機・意欲		○	
価値観		○	
興味・志向		○	
性格		○	
行動特性			○
ビジネス実務マナー	△		○

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

どうやって優秀な留学生を優秀な日本企業の社員にするか？
-外国人の人材育成モデル-

専門能力＋業務適用言語能力=エキスパート

専門知識・技術
業務処理能力
日本語能力

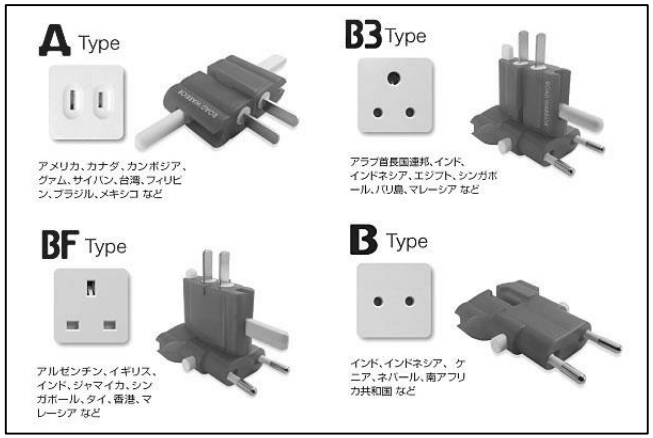
母語（又はJFL)で学習
母国の学校

動機・意欲	行動特性
価値観	ビジネス実務マナー
興味・志向	
性格	

日本語（JSL)で学習
日本の学校

ビジネス日本語の教育対象

＋



＝

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

ビジネス日本語の教育手法の研究

- 目標：日本企業の求める人材の育成
  - 様々な考えや立場を持った人のいる組織において、何かを成し遂げなければいけない時に、主体的にリードし、必要な人に働きかけ、成果を出すまで行動し続ける。
  - 企業の全階層における協働活動（改善活動、小グループ活動等）を実施するために重要な資質

→もともと企業研修（OJTを含む）で実施している人材育成教育をいかに外国人に適用できるようにするか（しかも日本語で）？

- 教育手法研究のアプローチ

→実現可能にする仕組みをどのように構築するか？

  - 社会言語学的アプローチ（最新の社会文化論的SLA理論）
  - CLIL（4C）ﾒｿﾄﾞﾛｼﾞを適用
  - コーチング・メソッドを適用

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved

想定される授業の設計
-コースデザイン（案）-

- 授業コンセプト
  - 完全自律型・課題解決型学習
  - 自己目標の設定及び管理（例：ITプロジェクトマネージャ）
    （何ができればよいのか、何ができるのか/できないのか）
  - 省察的実践（PDCAサイクル）
  - 学習者同士の議論（協働活動）
  - 教師によるコーチング（主に学習ストラテジー）
- クラス
  - 学習者（最大10名、日本語N1~N2レベル、SME）
  - 教師（1名、キャリアコンサルタント、コーチング、日本語教師）
  - 期間：6ヶ月～1年
  - 言語：日本語（母語も可能）
- 主要教科科目
  - ① キャリア・デザイン
  - ② 業務遂行の為の行動特性（メタ認知能力）
  - ③ ビジネス実務マナー（コミュニケーション能力）
- 授業内容
  - 学習者による学習結果の発表及び議論

Confidential and All Right Reserved

まとめ

- ビジネス日本語の現状
- 企業の求める人材像とその育成方法
- ビジネス日本語の教育手法の研究（案）

- 今後の課題（3年計画）
  - 日本語学校等との共同研究（実証実験）による仮説の実証
  - 研究成果を学術論文として作成
  - 研究成果の事業展開

ToyoEiwa CLILReN Confidential and All right Reserved